



公益財団法人
仙台観光国際協会
機関誌

vol.16

仙台藩祖 伊達政宗公霊屋 瑞鳳殿

初代仙台藩主伊達政宗公の霊屋「瑞鳳殿」と、二代忠宗公の霊屋「感仙殿」、三代綱宗公の霊屋「善応殿」は、いずれも1945(昭和20)年の戦災で惜しくも消失しました。この写真は、焼失前の瑞鳳殿の姿です。2025年1月現在、感仙殿、善応殿本殿と忠宗公・綱宗公御木像の中間期修繕工事が行われています。



- 特集 インバウンド市場のトレンド
- データで見る仙台の観光
- コ 各事業のご紹介
- コ 観光事業部/観光地域づくり推進課/MICE事業部/せんだい・宮城フィルムコミッション/国際化事業部
- ① 公益財団法人仙台観光国際協会は発足から10年を迎えました
- コ 「仙台観光国際協会 DMO登録記念・仙台-香港定期直行便就航記念
- コ 仙台インバウンドセミナー(仮)」を開催します



インバウンド市場の トレンド



2024年の全国訪日外客数は、1964年の統計開始以来、過去最速の10月時点で累計3,000万人を突破しました。11月までの累計は3,337万人となり、過去最高を記録した2019年をも上回り、過去最多となりました。（※日本政府観光局「訪日外客統計」より）
仙台においても、2024年1月～10月の訪日外国人観光客の宿泊者数は約34万人と、

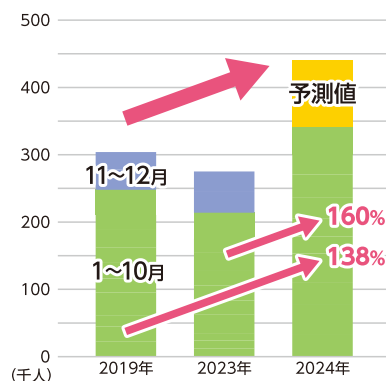
2019年同期間比138%まで増加し、インバウンド市場の盛り上がりを感じられる1年となりました。

2025年を迎え、ますます加速することが予想されるインバウンド市場。さらに、2024年12月からは仙台空港と香港をつなぐ定期直行便が就航し、香港からの観光客が増加することが期待されます。激動のインバウンド市場に備え、受け入れ態勢を整えていくために、仙台のインバウンド市場の現状を捉え、今後の動きを読み解いていきます。

2024年の状況は？

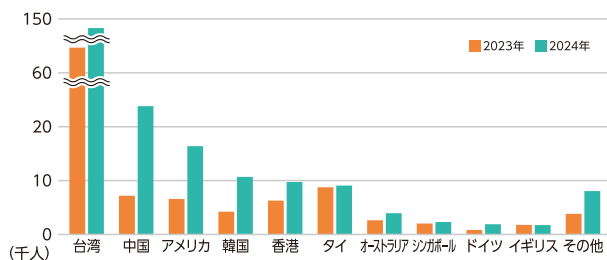
- 2024年1月～10月の仙台市の延べ訪日外国人宿泊者数 **34.2万人** (2023年同期間比**160%**、2019年同期間比**138%**)

※「宿泊旅行統計調査」(観光庁) (<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>) を加工して作成



- 国・地域別では **台湾、中国、アメリカ、韓国、香港** の宿泊者が2023年より大幅に増加

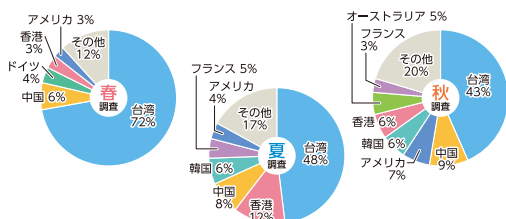
※出典：東北観光DMP (データ提供元：株式会社インテージ)



- **最も大きな市場は台湾を中心とした中華圏** (仙台市外国人観光客ヒアリング調査※)

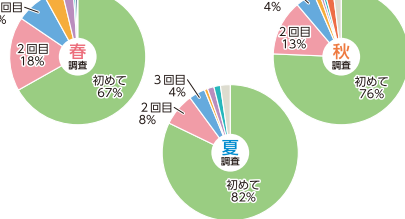
【国・地域別割合】

台湾が最も多く、中国や香港、韓国、アメリカも増加傾向



【来仙回数】

「初めて」の割合が約7～8割



※外国人観光客ヒアリング調査概要

仙台を訪れている外国人観光客の動態を把握するために対面アンケート調査を行い分析し、交流人口拡大に資する取組みや施策検討に繋げています。

【実施場所】
仙台駅・仙台空港・仙名城跡

【調査時期】
春調査…2024年4月26・30日、5月15・20日 (調査人数187人)
夏調査…8月7・8・9・21・22・23日 (調査人数127人)
秋調査…10月17・18・21・28・29日 (調査人数152人)

※より詳細な分析は、賛助会員専用サイトにて掲載しているSenTIAマーケティングレポートVol.12「仙台観光動向レポート 2024年4月～2024年9月」 「外国人観光客ヒアリング調査 秋」編でご覧いただけます。



インバウンド向けキャンペーンで 体験プログラムの利用を促進!

実施主体：
仙台市誘客戦略推進課

JR EAST PASS(※)購入者向けに仙台周遊を促す特典を配布するキャンペーン「Unlock SENDAI」が、2024年4月～12月に実施されました。このキャンペーンでは、一泊る仙台・地下鉄共通1日券の配布のほか、体験プログラム専用サイト「仙台旅先体験コレクション」掲載の体験プログラムのうち、キャンペーンに参加した事業者の体験プログラム利用時に、現地精算できるクーポン「旅コレクーポン」が、1人当たり2,000円分配布されました。実際にキャンペーンに参加した店舗からは、「訪日外国人観光客に向け、店舗の認知・誘客につながっている実感がある」という声もあがり、取り組みの効果も示されています。

※訪日外国人観光客向けに販売されている、関東・東北エリアの新幹線含むJR線や東武鉄道線などを5日間連続で利用できるパス。

キャンペーンに参加した「こけしのしまめき」さん

- 最も利用者が多かった8月はクーポン利用63件。
- 利用者の国籍はアジア系 (台湾など) が多かった感触。
- チケットは体験と販売の両方で利用可能だが、体験での利用率の方が高かった。また、「仙台旅先体験コレクション」に掲載中の体験プログラム (4つ) の中で、「こけしの絵付け体験」での利用が最も多かった。



● **各WEBサイトとも海外からのアクセスが急増!** ※2024年1月～12月の数値

仙台市公式多言語観光サイト
「Discover SENDAI」



【海外ユーザー数】

2023年 112,445 → 2024年 363,270

約3倍!

- 1位 台湾▶前年比 282%
- 2位 香港▶前年比 458%
- 3位 アメリカ▶前年比 285%
- 4位 タイ▶前年比 146%
- 5位 シンガポール▶前年比 471%

は中華圏の国・地域です。

仙台市公式観光情報サイト
「せんだい旅日和」



【海外ユーザー数】

2023年 6,262 → 2024年 94,125

約15倍!

- 1位 台湾▶前年比 718%
- 2位 アメリカ▶前年比 1,036%
- 3位 香港▶前年比 8,602%
- 4位 中国▶前年比 934%
- 5位 韓国▶前年比 1,403%

体験プログラム専用サイト
「仙台旅先体験コレクション」



【海外ユーザー数】

2023年 17,935 → 2024年 76,200

約4倍!

- 1位 アメリカ▶前年比 373%
- 2位 台湾▶前年比 458%
- 3位 香港▶前年比 858%
- 4位 シンガポール▶前年比 393%
- 5位 オーストラリア▶前年比 473%

仙台市観光シティーレープバス
「るーぷる仙台」公式サイト



【海外ユーザー数】

2023年 25,279 → 2024年 35,011

約1.4倍!

- 1位 台湾▶前年比 147%
- 2位 香港▶前年比 180%
- 3位 アメリカ▶前年比 161%
- 4位 シンガポール▶前年比 154%
- 5位 タイ▶前年比 81%

※出典：仙台市観光DMP (データ提供元：Google Analytics)

2025年の注目トピックス



2024年12月より、**仙台と香港をつなぐ定期直行便が就航!**

3つの航空会社で合計週11便と、台湾の週17便にも迫る便数となり、今後ますます香港からの観光客が増加することが期待されます。香港便の就航により、今後仙台にどのような影響があるか、仙台の旅行会社・(株)和楽旅行社代表の阿部さんにお話を伺いました。

(株)和楽旅行社
代表取締役社長
阿部素子さん



SenTIA

中華圏(中国・香港・台湾など)の日本旅行におけるトレンドはありますか?

コロナを経て東北を取り巻くインバウンドの環境は大きく変化を遂げました。観光関係者の皆様による地道な活動で東北の知名度は着実に向上してきた矢先のコロナ、そして一昨年の解禁を機に日本・東北の注目度が一気に開花の時期を迎えました。オーバーツーリズムが起こっている地域から**人混みを避けて観光したい**というニーズも大きいと思います。また、東京、大阪、京都のゴールデンルートはFIT*でも自分で手配して訪問できるのですが、**まだ二次交通が不便な東北には団体ツアーの需要があります。**

阿部さん

SenTIA

香港定期直行便の就航により、仙台にどのような影響が及ぶと考えられますか?

必ず宿泊者数は伸びると思います。また、行程を組む時に自由時間で買い物ができるのはやはり仙台です。最近はブランド物が好きな方も多いので、**デパートなどで買い物**をされることもあると思います。他のアジア諸国の観光客より**観光消費額は大きい**と予想されます。

阿部さん

SenTIA

香港の観光客の特徴や、好まれる東北や仙台のコンテンツはありますか?

香港の旅行形態はFIT*より、まだ**団体旅行が多い**傾向があります。現地の旅行会社も旅行商品開発に一生懸命なので、お客様の満足度も高くなっているものと思います。コンテンツとしては、台湾と同じく**雪**が好まれます。スキー、スノーボードではなくても、雪だるま作りなど**ライトな雪遊び体験**でも良いと思います。また、**花**が好きですね。香港にはあまりお花畑やガーデンが少ないので、とても喜ばれます。「花暦」のようなものがあると思います。仙台のグルメなら、**仙台牛や三陸の海鮮**が好評です。うなぎ料理を好まれる方もいらっしゃいます。

阿部さん

SenTIA

今後増える香港の観光客を受け入れるにあたり、準備しておくべきことを教えてください。

団体の受入れができる宿泊施設・飲食店が増えると良いと思います。あとは、団体向けに選択できるように、**松竹梅のメニューとベジタリアンメニューが一覧になったメニュー表**などがあると、旅行会社としては手配しやすいです。メニューの言語は「繁体字」が良いでしょう。「简体字」も準備できれば良いですが、**繁体字があれば、現在多く来ている台湾の方とあわせて対応できます。**また、InstagramやRED(中国のSNS)で情報収集をしているので、**宿泊施設も飲食店も、写真映えるPRを意識**することが重要です。食事は色合いがよく見栄えが良いことも大事ですね。すぐに写真を撮りたくなるようなメニューを作っていただくと良いですね。そうすれば、利用者の情報発信だけで新規のお客様が来てくれるようになります。

阿部さん

*FITとは、団体旅行やパッケージツアーを利用することなく個人で海外旅行に行くことで、Foreign Independent Tourの頭文字の略です。



データで見る 仙台の観光

仙台観光国際協会(登録DMO)は、仙台市と連携し、様々なデータを分析して観光動向を把握し、データに基づいた施策につなげるデジタルマーケティングの取り組みを行っています。

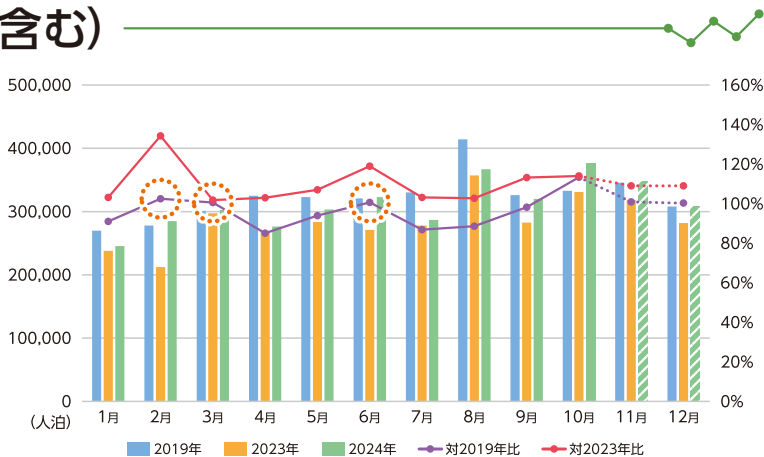
今回は、仙台への訪問者の動きやWEBサイトのアクセス分析などから、仙台の観光動向を探ります。

📊 動態データ

仙台市の延べ宿泊者数(国内外含む)

仙台市の宿泊者数は、2024年2月にコロナ禍以降はじめて2019年の数値を上回りました。その後3月、6月、10月に2019年比100%を超えています。この数値は国内外を含むため、訪日外国人観光客の著しい増加が要因となっています。2024年1～10月は累計308万人で、2019年同期間比96%、2023年同期間比109%です。また、2024年の年間合計予想は374万人(2025年1月時点)で、2019年比97%、2023年比109%となる見込みです。

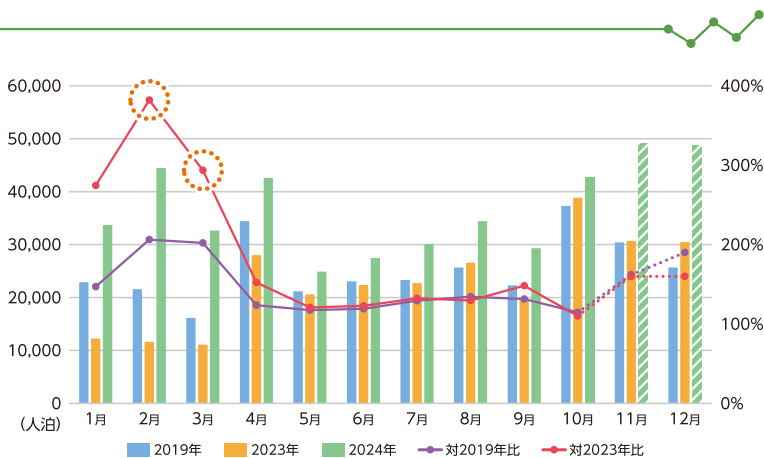
※「宿泊旅行統計調査」(観光庁)
(<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>)を加工して作成



仙台市の延べ外国人宿泊者数

仙台市の外国人宿泊者数は、2023年10月から継続して2019年の数値を上回っており、2024年2月、3月は2019年比200%を超えました。2024年1～10月は累計34.2万人で、2019年同期間比138%、2023年同期間比160%です。また、2024年の年間合計予想は44万人(2025年1月時点)で、2019年比145%、2023年比160%となる見込みです。

※「宿泊旅行統計調査」(観光庁)
(<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>)を加工して作成



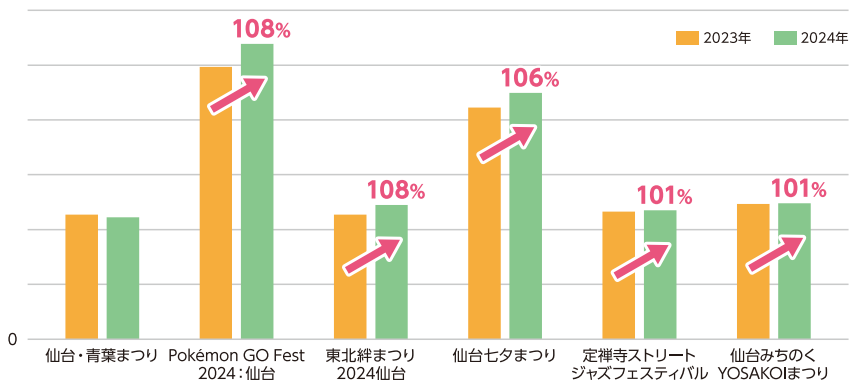
各イベントの動向

2024年は、初開催の「Pokémon Go Fest 2024: 仙台(5/30(木)～6/2(日))」、7年ぶり開催の「東北絆まつり2024仙台(6/8(土)～9(日))」など、例年よりも大きなイベントが多い1年となりました。

各イベント開催時、仙台市中心部*への来訪者を2023年同月同曜日と比較したところ、「Pokémon Go Fest 2024: 仙台」「東北絆まつり2024仙台」は108%となりました。また、2024年は平日開催であった「仙台七夕まつり」も106%と、イベントによる中心部の賑わいが創出されました。

※仙台市中心部とは、仙台駅周辺や中心部商店街、国分町などを中心とした半径約1kmのエリアのことです。

2024年春夏(5～8月)のイベントについては、SenTIAマーケティングレポートVol.10「2024年春夏のイベント分析」編にて詳細の分析をご覧ください。賛助会員専用サイトにログインの上ご利用ください。



※出典：仙台市観光DMP(データ提供元：株式会社Agoop)

アクセス分析

仙台市公式観光情報サイト「せんだい旅日和」、体験プログラム専用サイト「仙台旅先体験コレクション」、仙台市観光シティーバス「るーぶる仙台」公式サイト、仙台市公式多言語観光情報サイト「Discover SENDAI」のアクセス状況を見ていきます。

【せんだい旅日和】

PV数：6,299,658(前年比101% ↗)

1	仙台城跡(伊達政宗公騎馬像)【スポット】
2	美味しいもの【グルメ紹介】
3	絶景の松島・仙台を巡る旅【モデルコース】
4	仙台大観音【スポット】
5	定番! るーぶる仙台で行く伊達家ゆかりの三名所【モデルコース】
6	秋保大滝【スポット】
7	人気漫画『ハイキュー!!』の月島嵐と山口忠が「仙台観光特使」に就任します【新着情報】
8	3時間で巡る仙台街なか探訪【モデルコース】
9	仙台藩祖伊達政宗公霊屋 瑞鳳殿【スポット】
10	1泊2日で行く! 仙台秋保温泉の旅【モデルコース】

定番の観光スポットやモデルコースが多くランクインするほか、仙台観光特使に関する新着情報が多く閲覧されました。

【仙台旅先体験コレクション】

PV数：2,661,939(前年比117% ↗)

1	カメイアリーナ仙台施設見学ツアー
2	仙台市中心部の体験プログラム
3	松島熱気球体験
4	親子でお出かけ♪体験特集
5	阿部蒲鉾店本店 笹かまぼこ手焼き体験
6	高級ぶどう40分間食べ放題プラン 山元町産ぶどう狩り
7	ガラス工房 元
8	楽しい食品サンプル作り体験!!
9	【仙台旅コレフェス】秋博 仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2024
10	松島エリアの体験プログラム

親子で楽しめる体験プログラムや、仙台ならではのグルメを体験できるプログラムが多くに関心を集めました。

【るーぶる仙台】

PV数：1,715,563(前年比113% ↗)

1	るーぶる仙台とは
2	モデルコース
3	仙台観光スポット
4	特別運行
5	仙台城跡
6	瑞鳳殿
7	「るーぶる仙台」仙台城跡臨時停留所設置のお知らせ
8	お知らせ
9	大崎八幡宮
10	仙台駅

るーぶる仙台を利用するモデルコースのページが多く閲覧され、仙台を初めて旅行する人にも多く見られていると考えられます。

【Discover SENDAI】

PV数：578,876(前年比185% ↗)

	言語	
1	Unlock SENDAI	
2	仙台市内の交通情報	繁
3	松島への日帰り旅行	繁
4	仙台の冬の見どころ	繁
5	ミシュランガイドに掲載された仙台のラーメン店5選	英
6	仙台と松島で大晦日を楽しもう	繁
7	仙台市内の交通情報	英
8	地元の人が訪れる仙台の人気桜スポット5選	英
9	定額制観光バス「るーぶる仙台」で仙台を観光	英
10	仙台周辺の人気アクティビティ	英

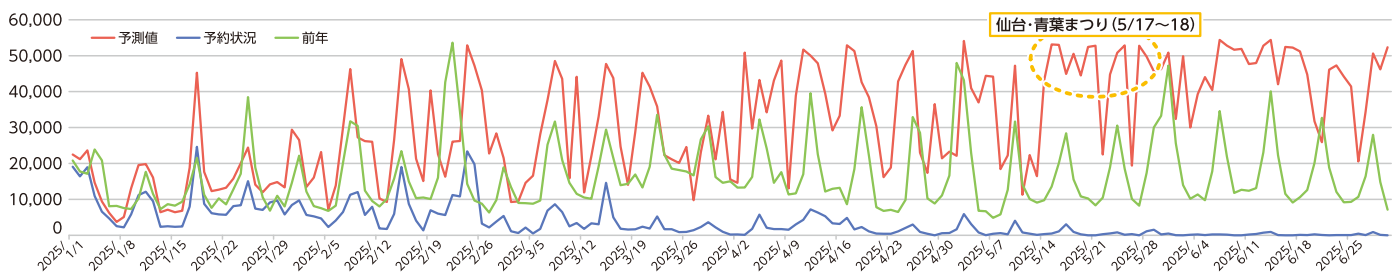
Unlock SENDAIキャンペーンの特設ページが最も多く閲覧されました。また、仙台のラーメン店特集記事も上位にあり、グルメの関心が高いことがうかがえます。

※2024年1月～12月のデータとなります。 ※出典：仙台市観光DMP(データ提供元：Google Analytics)

2025年6月までの宿泊予報

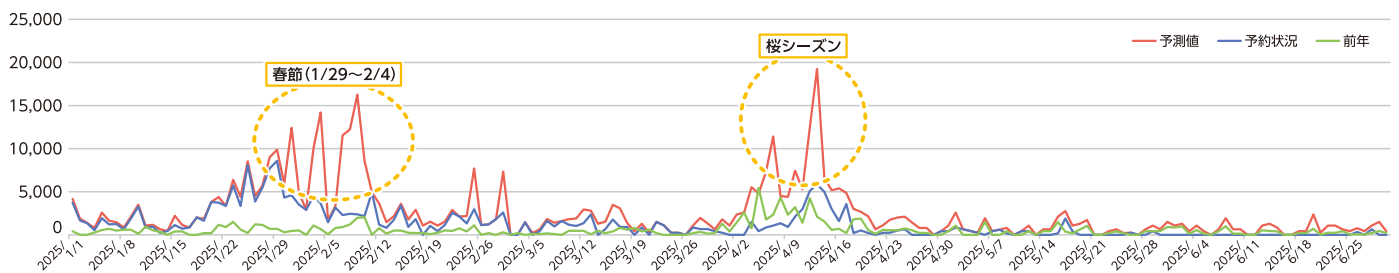
宿泊者全体

4月以降は高い水準で宿泊者が増加することが見込まれます。また、仙台・青葉まつりが開催される5月中旬は昨年よりも多くの宿泊者となる予想です。



宿泊者(外国人宿泊者のみ)

春節と4月初旬～中旬の桜シーズンに宿泊者が増加する見込みです。



※出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(https://kankouyohou.com/)



各事業のご紹介

観光事業部

TEL.022-268-9568

北海道札幌市において「宮城・仙台」の教育旅行説明会等を実施

2024年11月20日に札幌市内において、宮城県・仙台市・宮城県観光連盟・SenTIAの主催による、2024年度「宮城・仙台」教育旅行・体験学習説明会を開催しました。今年度は北海道の中学校10校、旅行会社10社、受入側の宮城県内17団体・事業者の合計47名が参加しました。説明会では、宮城県及び宮城県観光連盟、伊達な広域観光推進協議会(事務局:仙台市)から震災学習や体験プログラムの紹介、今年宮城県内で修学旅行を実施した学校からの事例発表に加え、学校と旅行会社に分かれた個別相談会を実施しました。例年より札幌市内の中学校の参加数が増え、仙台市内自主研修に関する問い合わせも多く、「宮城・仙台」への関心の強さを感じました。



教育旅行・体験学習説明会の様子

また、併せて札幌市及び近隣市、道南の中学校・旅行会社を訪問し宮城県で体験できるプログラムの紹介や行程の提案、受入状況等を説明することで、2~3年後の誘致に結びつけるべく、セールス活動を行いました。

今後も、北海道新幹線の札幌延伸による影響も視野に入れながら大型校の誘致も含め、積極的に教育旅行セールスを行ってまいります。

体験プログラムの更なる認知度向上と観光誘客に向けて

2024年度は、過去3年間取り組んできた体験プログラムのプロモーション強化に引き続き取り組みました。各種まつりや観光施設等と連携し、年間を通じたイベントを開催する「仙台旅先体験コレクションフェスティバル2024」を展開し、体験プログラムの認知度向上と利用拡大に努めました。



「駅たびコンシェルジュ仙台」での出張体験ワークショップの様子

西公園や青葉山公園を会場とした「東北絆まつり2024仙台」の他、「仙台・青葉まつり」や「仙台七夕まつり」、「仙台みちのくYOSAKOIまつり」などの開催時期に合わせ、仙台駅2階の駅たびコンシェルジュ仙台で出張体験ワークショップを開催し、仙台を訪れた観光客を中心に体験プログラムを提供することができました。



「仙台旅先体験コレクションフェスティバル2024~秋博~」の様子

2024年9月には、ぶらんど〜む一番町商店街にて、「仙台旅先体験コレクションフェスティバル2024~秋博~」を開催し、2日間で延べ38事業者が出店。総売上額は前年比約1.3倍となり、体験プログラムの利用促進と観光消費額増加に成果を出しました。

また2024年12月には、「仙台旅先体験コレクションフェスティバル2024~冬博~」を、新たな観光拠点施設となった青葉山公園仙臺緑彩館で開催し、青葉山エリアの活性化と地域づくりにも貢献しました。

2025年は、こうした流れを更に加速させるべく、国内外から仙台・宮城・東北を選び観光に訪れてもらえるよう、自然や地域・文化などつながりのある独自の体験プログラムや、満足度の高い高付加価値の体験プログラムなど、ここでしか体験できない「イチ押し体験プログラム」の創出・磨き上げに力を入れてまいります。



「仙台旅先体験コレクション」

<https://sendai-experience.com/ja/>
TEL:022-302-5808(受入環境整備課)



タイ・台湾での旅行博に出展、仙台・東北への誘致活動を実施

観光事業部では、仙台・東北の魅力発信や海外から仙台への誘客促進を目的に、仙台市の重点市場であるタイ王国バンコク都、台湾・台南市における旅行博への出展及び商談会の参加、現地旅行会社へのセールスを通じて、周辺地域を含む広域観光のPRと両地域からの積極的な誘客活動を実施しています。

2024年10月下旬には、タイの現地旅行会社4社を招請し、仙台を目的地を含む旅行商品の造成及び販売により効果的な送客に繋がっています。また、誘客活動に合わせて、賛助会員や市内事業者の皆様に対する外国人観光客への対応力向上に向けたセミナーや支援の実施等、受入環境の整備にも取り組んでいます。

さらに、2025年1月下旬には香港からの定期便も週11便となり、東北の玄関口として仙台を訪れる外国人観光客の増加が一層期待されています。今後もより多くの訪日外国人観光客が仙台を訪れ、長期滞在していただけるよう、インバウンド事業に取り組んでまいります。



大台南国際旅展2024でのブース出展の様子



タイの旅行会社招請で仙台すずめ踊りを披露



外国人観光客への対応力向上に向けたセミナー開催

観光プロモーションと連動し、仙台の物産品のPR促進を図ります

2024年度は首都圏や就航都市(札幌・大阪)での観光プロモーションと連動した県外での催事に加え、仙台・青葉まつりと連動した観光・物産プロモーション催事を東北のJR主要駅等にて開催しました。また、当協会のオリジナル商品として「仙台名物こけし」や「仙台弁こけしコースター」の新商品も発売し、当協会が運営するオンラインショップ「伊達な銘品横丁」特別企画として、夏・冬の季節関連商品の限定販売や、JR仙台駅での現地販売会も開催しました。2025年は、物産関連団体と連携して、県内外にて催事を開催し、仙台の物産品のPR促進・販売機会の創出と、物産関連事業者の人材不足対策として、催事の運営方法の見直しや、伝統的工芸品の後継者育成にも取り組んでまいります。さらに、「伊達な銘品横丁」を活用したWEB上での情報発信・販売促進も図ってまいります。



大阪での催事の様子



仙台名物こけし



「伊達な銘品横丁」<https://datanameihin.com/>



登録DMOとして、エリア別観光地域づくり事業を推進します

2024年度に新設された観光地域づくり推進課では、登録DMO(2024年9月24日付登録)として、事業者や関係機関等と連携しながら、下記の取り組みを実施しました。

● 仙台市を4つのエリアに分け、ブランディング事業を展開。各エリアの特集ページを仙台市公式観光情報サイト「せんだい旅日和」内で公開。

作並・定義エリアでは温泉宿泊者を対象に「2024作並・定義ホテルパス」を運行
中心部エリアでは「歩いて発見伊達なまちステーション」を開設

秋保エリアでは「秋保クラフトバレースタンプラリー2024」を実施
東部エリアでは「くらしに+ せんだい海リゾートスタンプラリー2025」を実施

● 仙台市と株式会社タイミーとの連携協定に基づき、宿泊業の人手不足解消を目的とした採用支援やスポットワーク導入を推進。なお、スポットワーク活用支援補助金の申請は2025年2月28日まで受け付けています。

これらの取り組みを通じて、交流人口の拡大や地域の活性化に努めていきます。

● 第40回仙台・青葉まつり(2024年開催)では、15年ぶりに有料棧敷席を販売し、2日目の本まつりは全席完売しました。第41回の一般販売は2025年4月1日～を予定しています。

● 2024年度秋保・作並定義・泉西部観光振興事業助成金事業では、計20件の事業を支援。次年度も地域の事業を継続して支援します。

● 仙台市西部地区観光地域おこし協力隊の活動支援事業を仙台市より受託して隊員3名を募集。現在2名が採用され、残り1名を募集中です(2025年3月31日まで)。



MICE事業部

国際会議開催地としてのサステナビリティを推進していきます

2024年度、仙台市は観光庁の「国際会議におけるサステナビリティ推進事業」の対象都市として横浜市、岡山市と共に選定されました。MICE業界においてもサステナビリティに対する取り組みが重要視されるようになっており、仙台がより一層魅力的なSDGs実践都市として競争力をもてるよう、他都市の先進事例を学び、地域の関連事業者の皆様と共にワークショップなどを行っています。

MICE関連のサステナビリティは、運営や参加者の移動に伴うCO₂排出削減、フードロス対策、地域特産品や伝統文化の活用を通じた多様性の維持など多岐にわたります。今後、誘致活動を優位に進められるよう取り組んでまいります。

海外からのミーティング・インセンティブ誘致への取り組みを実施しています

観光庁「海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業」の採択を受け、MIIに特化したコンテンツの策定と実証事業を行いました。タイ、台湾から6名の招請者に、仙台を核とした広域連携により地域の伝統産業や知的資源等を交えて策定したモデルコースを巡っていただきました。コンテンツの磨き上げを行い、2025年度以降の広報セールスに生かしてまいります。

海外におけるセールス活動「JNTOインセンティブ旅行商談会」

JNTOが実施する海外インセンティブ旅行商談会のうち仙台がターゲットとしうる5カ国(韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ)に出展しました。商談会の翌日には旅行会社、航空会社、観光協会を訪問し、現地の市場動向を伺い、情報交換と新しい人脈を構築しました。



コンベンション開催助成制度の変更

これまで申請の多寡によって上限額に対する支給率が変動していましたが、収入予算を立てづらいという大きな課題がありました。主催者の皆様の要望を一部反映し、先着順に原則上限額の交付ができるよう2025年度開催のコンベンションに対する助成では制度を変更しました。



Sendai Convention Navi
「仙台コンベンションナビ」
<https://www.sentia-sendai.jp/conventionnavi/>

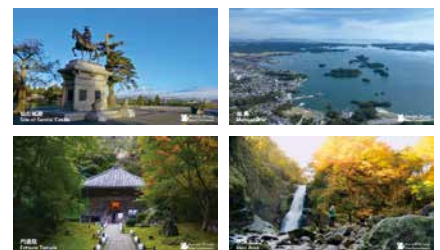
せんだい・宮城フィルムコミッション

仙台・宮城のロケーションを映像で! 動画ライブラリを開設

SenTIAに事務局を置くせんだい・宮城フィルムコミッション(FC)は、映画やドラマ等の映像作品を通じたシティプロモーションを促進するとともに、地域の皆さまが地元を誇りを持ち、その魅力を再発見いただけるようロケ誘致・支援に取り組んでいます。2024年度は支援した映画作品が4本公開され、さまざまな媒体でロケ地PRを展開しました。

こうしたロケ誘致およびプロモーションの一環として、映像制作者向けに仙台・宮城のロケーションを効果的に発信するべく、せんだい・宮城FCのWEBサイト上に新たに「動画ライブラリ」ページを開設しました。仙台北城跡や定禅寺通、秋保・作並エリアをはじめとする仙台市内11件と松島周辺4件の動画を公開しています。

ロケーション動画は映像制作会社をはじめ報道機関、旅行会社への提供素材としても活用しており、バラエティ番組や各種イベントの会場映像など、多彩な場面で利用実績を上げています。2024年度も県内各地で撮影を実施しており、掲載スポットを随時更新していく予定です。仙台・宮城の魅力的なロケーションを映像でご覧いただけます。ぜひご活用ください。



せんだい・宮城フィルムコミッション
「せんだい・宮城フィルムコミッション」
<https://www.sendaimiyagi-fc.jp/>



多文化共生社会の実現に向けて

留学生や労働者の増加により、2024年の市内の外国人住民数は約1.7万人と過去最高となり、2025年も更に増えることが見込まれています。国際化事業部では、外国人住民との共生社会実現に向けて、地域の日本語教育、多言語による情報発信・相談対応、外国につながる子どもの支援など、様々な事業に取り組んでまいります。

国際化事業部サイト
<https://int.sentia-sendai.jp/j/>



仙台多文化共生センターの移転について

仙台国際センターが大規模改修工事に入るため、2025年2月に下記の場所に移転いたします。今回の移転は一時的なものであり、将来的には、市役所本庁舎の建て替えに合わせ、2028年度中に新本庁舎に再移転を行う予定です。

移転先情報

住所：仙台市青葉区国分町三丁目6番1号 仙台パークビル1F
 アクセス：市営地下鉄南北線「勾当台公園駅」北1出口より徒歩1分
 代表電話：022-265-2471 / 通訳サポート電話：022-224-1919
 ※電話・FAX・E-mailに変更はありません。

移転等の日程

現在地での最終開室日：2025年2月9日(日)
 休室期間：2025年2月10日(月)～2025年2月16日(日)
 移転先での開室日：2025年2月17日(月)

「せんだい外国人防災リーダー」が活躍しています

国際化事業部では、防災に関心がある外国人住民を対象に、日本の災害について学び地域防災に貢献する「せんだい外国人防災リーダー」の育成研修を実施しています。これまでの研修修了者は約60名。SenTIAの防災事業や、市内の様々な防災の取り組みで活躍しています。皆様の地域の防災訓練にもぜひお呼びください。ご関心のある方は国際化事業部まで。



2024年11月 青葉区東六地区での防災訓練の様子

公益財団法人仙台観光国際協会は発足から10年を迎えました



公益財団法人
 仙台観光国際協会
 理事長
 結城 由夫

当協会は、2015年4月1日に仙台観光コンベンション協会と仙台国際交流協会が統合し、公益財団法人仙台観光国際協会としてスタートしてから、今年の4月で設立10周年を迎えることとなりました。

これもひとえに賛助会員の皆様、関係団体の皆様のご支援ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

当協会は、観光庁の観光地域づくりの登録制度に基づく「観光地域づくり法人(登録DMO)」に、2024年9月24日付で登録されました。このことを契機に、今後より一層、地域の皆様の合意形成を図り、協働しながら、データに基づく戦略の策定やプロモーションを行い、登録DMOとして、持続可能な観光地域づくりに邁進していく所存です。

また、2024年は、仙台にもコロナ禍前を大きく上回るインバウンドのお客様にお越しいただきました。今

後も加速することが見込まれるインバウンドに向けた観光コンテンツの開発とプロモーション等に取り組み、地域の皆様とともに受け入れ態勢の整備・強化を図ってまいります。

一方、2025年度より仙台国際センターの大規模改修に伴う休館も控えていることから、コンベンション主催者への各種支援などの対策を着実に進めていくほか、多文化共生事業においては、更なる増加が見込まれる外国人住民への相談支援、情報提供の継続的な実施が求められております。こうした課題等に適切に対応し続けるためにも、役職員一同、気を引き締めて多岐にわたる各事業に取り組んでまいります。

今後も当協会事業へのご理解と、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「仙台観光国際協会 DMO登録記念・仙台-香港定期直行便就航記念 仙台インバウンドセミナー(仮)」を開催します

お問い合わせ先：観光地域づくり推進課 / 022-268-9568

【開催日】2025年3月19日(水)

【会場】仙台国際ホテル

【共催】(公財)仙台観光国際協会、
 仙台商工会議所、仙台空港国際化利用促進協議会

第1部

セミナー

15:00~17:00
 (参加費無料)

第2部

交流会

17:15~18:15
 (交流会費5,000円(税込) / 1人)

お申込み方法等詳細は協会公式サイトよりご確認ください。

賛助会員を募集しています!

当協会では、私たちと共に観光・物産の振興及びコンベンション誘致・支援などに協力いただける賛助会員を募集しています。賛助会費は、当協会の事業を支える貴重な財源として、仙台市の交流人口拡大のため活用させていただいております。

賛助会員に関するお問い合わせ先 | 観光地域づくり推進課 TEL:022-268-9568

会員特典

- 独自に調査したコンベンション情報の提供
- 観光マップ等の月1回無料配送
- 主催セミナーのご案内
- 異業種交流会のご案内
- 会員限定マーケティングレポートの閲覧 など

